

2025. 10. 8 義務教育学校のスポフェスに参加する

昨日は、隣の義務教育学校前期課程でスポーツフェスティバルがありました。そこで年長児は5・5交流でいつも交流している5年生に誘導されながら、1年生と一緒に玉入れを楽しみました。

前期課程のスポーツフェスティバルは、幼稚園の年長児の参加もそうですが、後期課程の生徒もいろいろな場面で参加していました。幼稚園、義務教育学校が様々なところで連携しながら、体を動かす楽しさを味わう、スポフェスを楽しむ、この時間がまた素敵だと思います。

年中児や年少児は途中の競技を見に行きました。そして、応援席のところをウロウロしていると、声をかけてくれる前期課程の児童たち。「〇〇ちゃんのお兄ちゃん!」「かわいい!」と子供たちなりのかかわりが自由に見られます。

幼稚園教員は、前期課程の応援合戦の審査員の一人でもありました。幼稚園を巣立って前期課程に行き、めいっぱい頑張っている姿を見ながら、うれしい気持ちでいっぱいでした!

今日は、後期課程のスポフェスがありました。後期課程の応援合戦は迫力もありかっこいい。数名の年中児が応援を見たいということで見に行きましたが、その迫力に思わず手拍子しながら見ている女の子もいました。そこでも、自分のお兄ちゃんがいると、「お兄ちゃんいた!」と声をかけている姿もまたかわいかったです!また、虫取りしながら見ている年長児、自分の部屋のテラスから見ている年少児など見る場所もみんなそれぞれです。自然と義務教育学校の雰囲気を感じることができるこの距離感、自由さがなんともいいなと改めて感じました。

いろいろな機会を通して、日頃より子供も職員も顔を合わせる。その積み重ねや距離感が幼小接続や幼小中の垣根を超えた関係性につながっているのだと感じます。これからも大切にしていきたいです!

